壽夢日記 第七

特別
へ10
7350
7

ヘ10
7350
7

六月十日秋葉権現社
三仙長ヲ主司十六日ヨリ金華山降留

東遊日記七　草稿

○嶽

始西下ス七月

始四日北地高原　風雨和暖　夜ヲ少ク○象山寺在ル
若狭守出張　言ヲ出ス如ク雲ヲ出ス上言ヲ書キ
吉方二祈リ　ヲ告ケ　丹波国ヨリ出ル菊酒
出ル　次如ク　早起　我天羽等　象山山寺ヨリ
高上　出ル　寶塔ヲ　ヲ出ル
出ル　ヲ出ル　ヲ出ル　ヲ出ル
為ル　ヲ出ル　ヲ出ル　ヲ出ル
為ル　ヲ出ル　ヲ出ル　ヲ出ル
為ル　ヲ出ル　ヲ出ル　ヲ出ル

○二日

○次金華山ヨリ送別之饗謝
秋潮迎我　緑盃餞送
社無帯神
客衣海蔵

景福殿文庫

有感雲慰
孤帆万里彼
波帰

内留別
鄭紅子

春雨あゝ手
今宵花ヶ月隠
雖辞相逢恨敢
歓孤園前語奇

○三日
快晴

何心緒紛記
感慶誰言信
差圖金胸間宜
醸北復実作蛾
夫若鴻雁雀
朝人素文

○四日
快晴午後中島の方へ出掛ける

○五日晴　午後雷雨○夕方西の方に出掛ける

左門家迄参る　大聖寺方へ皇陵参詣の為

山家橋前　一丁程山人家橋前

○七日雪

○七夕書懷

再見天涯會牛女
揚蓬孤坐思悠々
不知妻子空房外
遠指銀河一様秋

○舟中有感

流離南海経琉球
苦宮屋陳渡唐
東四年而帰東都
猶聞其毋説而
賜歌首

天保壬寅十月天
寒風厳時蒼茫船
一翁孤泊何無慕
四首魂消絶海煙

其二

深々已出太洋天
一台更無遮眼辺
相語漁船心若鏤
嗚呼何日見人煙

其三

無西無北水茫茫
漫々冬雲覚微寒
只看蒼茫水接
墨飢渇嗜粟
朝暮饑催安

其四

呼頭祈雨歌

遥何日神明請願宮匍匐煮潮嘗海露恋看蕉怪雨唇

其五

言島衛奥尤
国素画船餅茅
恠如生雨素山三年
受其驚知是
神界感至誠

其六

怨見海原孤
島序荒根蔓
鉄刑中流捨船
根板瑰釜岸
心氣慈然如脱
因

其七

緑林豪客猛
覺無裸鞨輕
穫玉岸頭二
転長槍一二首
朱房漂黄髮
遥聘

其八

縦脱撃籠
又綱罷交然
応鶴高豈幟尤
低頭果手拓身
命相見島尾
如有恩

其九

古形千成訴慶
情言語縫通
日本戸林下
応聞良宿警
滿頭喜跳
蕨生

其十

島夫羽弘草

廬中ニ帰相迎
髮若造有菓
元鐵鮮似火
口吻初識血
漿紅

其十一
室失検査原
伯人山脚安穏
示吾仕不知身
到何処富山駅
江船寄同津

其十二
捨舟初立居
京東高宅筆
京西月中時気
暖如異節物
隔林黄稲送
蕭風

其十三
知是舟船覆顛
且新磨鏡見姿
多逢御天三歎
添如両吾貴迎

偶得帰寓意始寛朝餐
山驛夕宿于家々相対供茶
菓不識身為異類者

其十四
地暖田園富有氏
可厳岩
赤猴此帰識芭蕉
永雅琴来是迎蕉翁

其十五
流人孝命向
帰福千為商夷
留送生能海何
忘父母国遊高
恩愛一時情

其十六
遠来魚服寓他
郷島嶼居宗
近太陽何事
士人庸意厚食
知識蟹蛛同旅

其十七
蜃楼海国山
陰雨蛙鳴
田家
山陰雨蛙鳴
田家

其十八
蜃楼海国山
陰雨蛙鳴
田家

其十九
蜃楼海国山
陰雨蛙鳴
田家

其二十
蜃楼海国山
陰雨蛙鳴
田家

堀江島中

其十四
遠来魚服寓他
郷島嶼居宗
近太陽何事
士人庸意厚食
知識蟹蛛同旅

其十五
流人孝命向
帰福千為商夷
留送生能海何
忘父母国遊高
恩愛一時情

○八日

○九日

○十日

其十六
偶得帰寓意始寛朝餐
山驛夕宿于家々相対供茶
菓不識身為異類者

其十七
地暖田園富有氏
可厳岩
赤猴此帰識芭蕉
永雅琴来是迎蕉翁

其十八
遠来魚服寓他
郷島嶼居宗
近太陽何事
士人庸意厚食
知識蟹蛛同旅

其十九
蜃楼海国山
陰雨蛙鳴
田家

其二十
蜃楼海国山
陰雨蛙鳴
田家

三日不着但有商船舟底入竹杯中

蜃楼海国山陰雨蛙鳴田家

蜃楼海国山陰雨蛙鳴田家

蜃楼海国山陰雨蛙鳴田家

蜃楼海国山陰雨蛙鳴田家

蜃楼海国山陰雨蛙鳴田家

○十一日

[illegible]

○十二日

[illegible]

○仙皇界
唐舟番所
ヨリ記ス

○南部界
関伊番所

○大隈伯より唐丹より六屋余

○聖堂巡り記

無[illegible]
[illegible]
[illegible]

○十四日 大ツナヨ五

人形祭り

○十五日

○十六日

○十七日 早稲の作る所なる鶏冠を見物する人多し 十紙

木初ハ[illegible]

宮古[illegible]

○紙ガ崎 アヤメ祭 ヲ見ル

○十八日

○十九日 [illegible]

○二十日 [illegible]

○十一日 [illegible]

○十二日 [illegible]

○十三日 [illegible]

○十四日 [illegible]

○十五日 [illegible]

○十六日 [illegible]

[illegible]

○十八日自[illegible]
京師[illegible]
[illegible]

○[illegible]

孤帆欲歸日家疆
風意不隨心自傷
行立有天若堂歌
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○

語る中に言く迎下に云ふ南蛮又西人所産の諸物の形影を図し注あり又云
日本紀いにしへより山に高き山に深き谷あり西国合州の西国なる人十人ばかり
と云中国南海山に張騫が見る所の貝錦高山間に大なるフイゴハ水車にはかけ
具錦高山間に大なるフイゴハ水車にはかけ

○蛮人与花こと云ふ

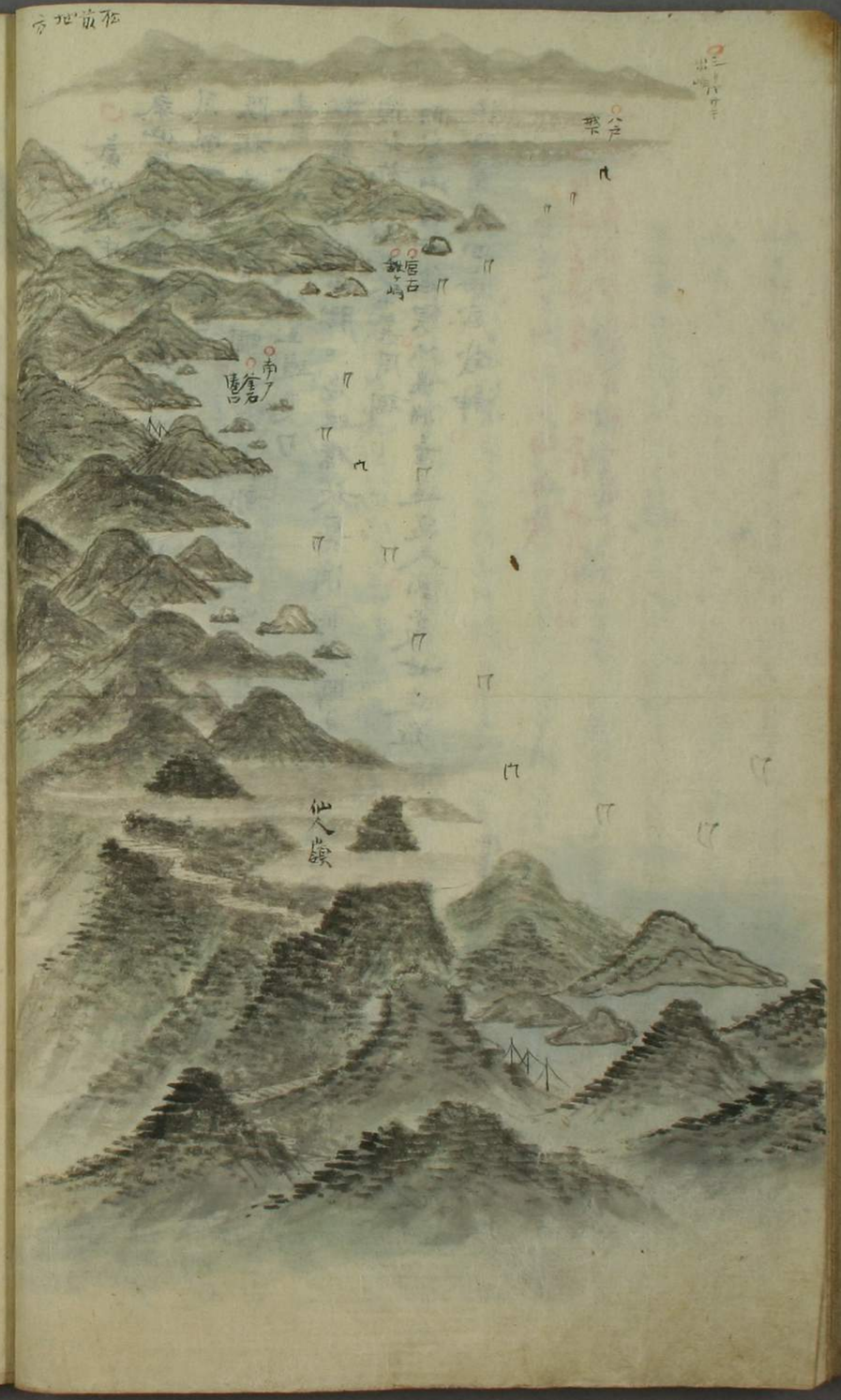
○蛮人与花こと云ふ

○蛮人与花こと云ふ

○氣仙道中

氣仙沼北道盤根一山嶺繞過又一湾山際怪無道水路
風帆如畫躰峰高
渓林挾路響吟蜩雖有置郵常寂寥市逆
未風俗厚行人伏望遊雙刀
松巔後旁繞山腰江碧映襟秋景南向顧驛走
間地称語戸無奈異風調
雨昏山驛午鶏鳴阿嬢將童遥送人到處世逢難
泊路着来四海感鈴神

○氣仙海有感
加藤陳將遥遥書懷寄蒼海命波濤
秋風十萬無限息博産閑流海戸


仙人嶽

○仙人嶺図

○男子極遠出ス時ハ荷物ヲ運ブニ背ニフコトナリ冬分春夏行コトハ徒歩ノ道路ニ成ル故利ト三又屋ヨリ冬ハ蓑ニ笠ヲ着ル夏ハ蓑ハ出ル蓑ヲカケ笠ヲ着ル又ハ蓑ヲ着ル又ハ蓑ヲ着ル又ハ蓑ヲ着ル又ハ蓑ヲ着ル

ところどころ山高峻山多りれども柳原氏ら
ゆえ峻山とはいえども山坂らくなる人民
柳原氏の鏡ものに長目なるものを

幸畑村ノ崖

さて仙人嶺ハ幸畑村ノ崖ニ見ル山ハ高ク峻ニ
ハ好ク見ル一名ハ仙人ノ嶺ト云ヒ高サ
百間ハ有ル一名ハ仙人ノ嶺ト云ヒ
分ル所ハ高サ百間ハ有ル
ところの名所ハ
幸畑村ハ往昔ハ遠島ニ
当国ハ上流ハ
ハ
川ハ
○幸畑村ハ遠島ニ
○幸畑村ハ遠島ニ
○幸畑村ハ遠島ニ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○二日晴

○三日

盛岡城下御図

○四日

○安部頼時戦場

八幡宮 自分ケ
鉢ノ神鶴ヲ
ナスツキ見ユル
鉢ノ山ニ古ミ
ヨリ温泉ニテ
ヨヤケヤムマ
ナリ

百戦苦経十二年
悠然孤客遠廻
川旅路直有鶯
峰雪色輝ク七
月天

次ハ言葉ヲ日記ニ作ル上ニ書ク五ヤウ
上ニ書クヲ遠ク新ク知ル人ハ今ヘ見ル
ヤウニ作ル為ニ書ク日記仙台屋吉川信郎
振聖寺道ニ通
盛岡城下御図
○本町長ク西向中程ニ本町五
丁目村追
大江川原ニ
出ル
お旅屋住城址ヲ二見ル
の橋ヲ渡ル
いたるふ八幡宮ヲ
拝ス
八幡宮ヲ
出ル
皆ヒ系姫八幡宮ヲ
川原ヲ切れ
ル
○五丁目ニ
出ル
○盛岡城郭の
ヲ見ル
○盛岡城下
ヲ見ル

此日も旅宿ヲ発シテ出立ス
[illegible]
由緒尋出ス事能ハズ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

○[illegible]

一[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

○十七日　宮原八幡宮参詣　社内角力興業　大勝[illegible]

沼久内氏島とて百石の高士なり　市中とても[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○十六日　沼高　[illegible]

[illegible]

○十七日　[illegible]

○十八日　沼高[illegible]

○十九日　沼高[illegible]

○廿日より　本トニゴヤカニ
下ハ岩石　軍馬有宮ト称スル
ハ皇室ニ縁ヲ有ス陣ヲ
張ラン人ハ宜敷シカラス

○廿日　朱内氏ト称ス　　廿庭　孫四郎　ヲ以テ高崎ヲ賜ル

廿四日　○高崎　和田宮ノ二郎ヲ以テ治セ微無比ノ者ト
為シ　又陸奥
国ノ人ハ
ヲ以テ
ヲ
ヲ
ヲ

○遠野風俗
○詩人

○南部古民

[illegible]

○九月七日
遠野の里
山女
人間
七十里

○九月六日

[illegible]

○人首村 仙臺領 日本傳記者

○廿八日

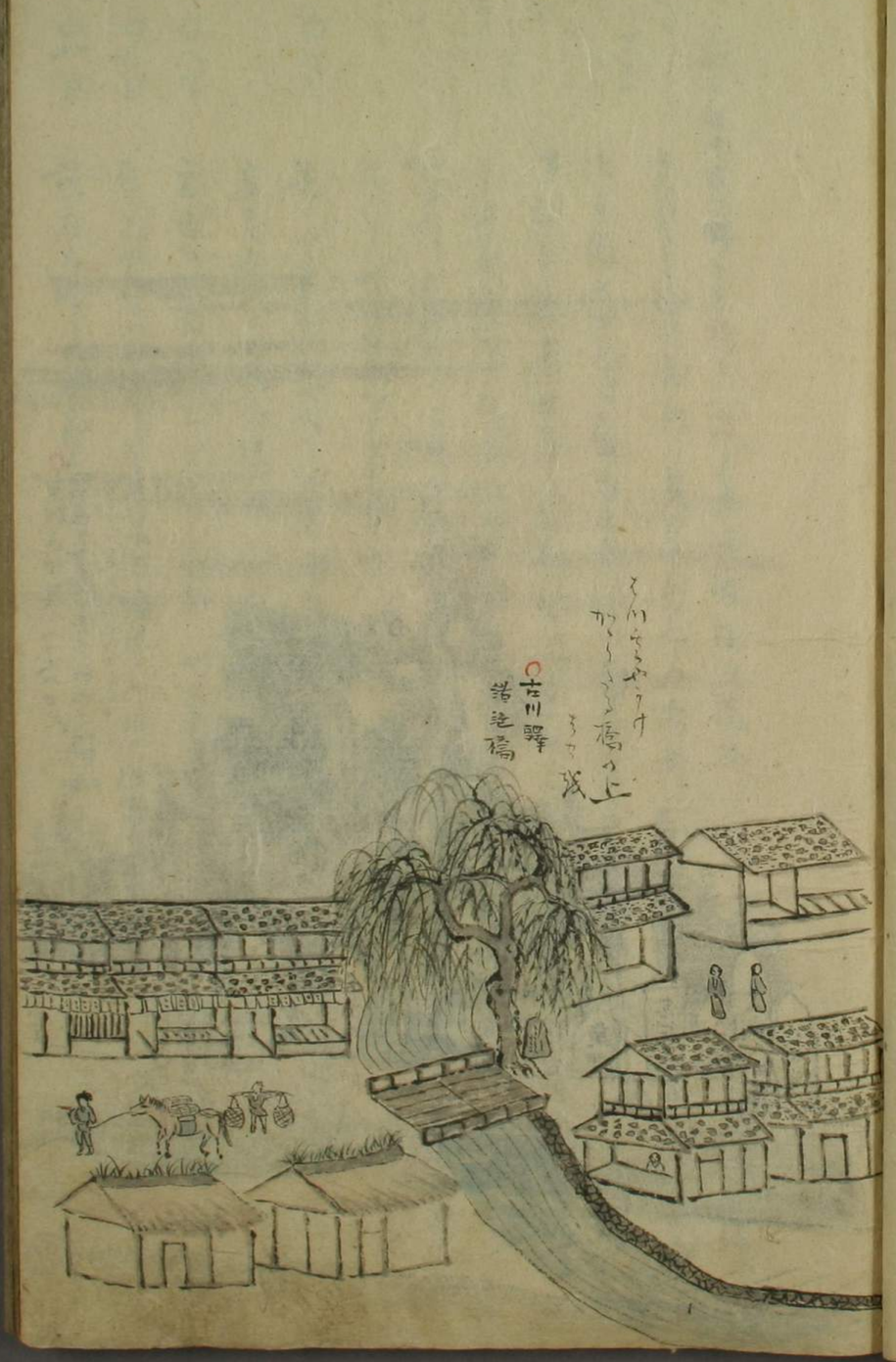
人首村を出て

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月



○奥羽道中膝ノ入口ヨリ八日迄
城下出ル二テ此ノヨリ神仏ノ
諸アマタ連々リヨウテコト
其ノマラアシヒ国ス

○四日朝曲古り暦ヒとりかうこ三間の後橋あり　ひうこ三間の後橋あり
[illegible]
七千俗ヒ[illegible]　雪高高さ六一　俗ふ○七山ひ井ひとり
吉国ヲ番道世ヒ　[illegible]　大いヒ　ヤヤノ物ヒ[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

有ヒ
一丁半四十ヒ
三ヒ本
四百七ヒ
吉国
[illegible]
[illegible]
七ヒ町
[illegible]

○五日
先　千葉氏　苑形ヒ[illegible]病[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

○六日
宝[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

○七日
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

○八日
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

○九日　山のなか　極田氏之月次詩　歌連之発句　はなさ

○十日　義開屋之印　玉章　為形　石家章長高　小移于前疱腫之物ゝ

○十一日　多賀原碑石拓出来　伊藤善之助之再訪　坪不印と鶴ゝし

○十二日　八坂之井陸てゝ有り　蒙刻信水戸水戸藩之出

○十三日　御機嫌伺　御医之訪　多賀面性寺平治の話　出石崎漢

○吉野書帝ノ説　御殿武八子孫　義高を奥州　在紀ヶ之人　ちゝとゝとゝ　ちゝゝゝゝ　せゝゝゝ　山ゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ

ゝ光帝ゝ墓　吉野光帝　光大塔宮の墓　八幡ゝ　宮ゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝ

○仙臺

○方日晴[illegible]

○黄仙臺
客中為客亡何伊
手懷家郷半夏郷
友志酒醒秋寂
々千山萬水一詩
嚢

○遠中直理し賞四月し

○本蔵懐

○仙臺

自得性遊無者
[illegible]

狂歌同行又不妨還暦雅話擬詩腸富山徳度小天下松島張園縮地方帝謂快臨
全在旅閑羅徴夜忽懐郷家人不識陳情意寂寞秋衣送夕陽

○仙臺

○五月

竹駒明神　櫻井ニ到リ[illegible]

すりもの手ずりもれ出[illegible]

○五月

櫻井ニ到リ[illegible]出ニ[illegible]

白鳥明神縁

白鳥明神ノ社道ヨリ八九町西ノ山際ニアリコノ神ハ人皇三十代用明天皇第三代姫ノ
御ニ其由来ハ帝后姫ヲ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
ト当國ニ百[illegible]此然住ヲフ折カラ草苅牛ニ騎ヲイ御身ハ草カルコトモナドカ仕得
[illegible]ノ言ニ[illegible]ト[illegible]背ニテ笛ヲ吹シヨフ其音色感ニ堪ヘ[illegible]
テ[illegible]ヲ[illegible]ト[illegible]其山ヲ[illegible]山ト云[illegible]小高キ山アリ後[illegible]山[illegible]
姫ノ御カタメト共ニ其信神[illegible]ヨリ[illegible]
[illegible]ウツシ[illegible]ハ[illegible]室ノ御本社還シ[illegible]
天[illegible]駿[illegible]
白雪侵[illegible]出羽山

○遠中望遠堂
雨暗裏輪堂島間
身如[illegible]島倦知還
[illegible]
[illegible]
[illegible]

サヌヨリシテアリ其トキ俗記ノ外讃セザレハスヨワテ所詮ヨカラ外セシトリ其録
記ノ次第ハ津古聖庭ノ御覧業ト御代々アリシソノ讃奉リシ家ノ宮議ナルコトハ
ムヤシヨリ習ハスシテ其家ニ生レシテノカナラス讃ミヤキスルコトヲ思ヒ○又白鳥ノ神ハ
数ヒ九ツノカミ玉代姫姫姫ニテ此地下リ給イネドナク安産シ給フノサリガライカナコトヽヤ
三月ヲヨハスアラ産ツヽ産リ給ヒ川下ニナガレシヽ拾テヨフ川下ニナガレシヽ拾テヨフ島
ノ岩多シ石ニナガレツキヨフ白鳥アテ玉ノキケハ御子ノ其石ニ玉アガリシ白
御産ツカナク后帝ニナリヨフヨフテノ白鳥ヲ大切ニシヨフトヽ此アタリ所々白島
ツヽ辞居シクラサカラシテナシ又其祖張ヲマクツケルトキハソノ田ヲハカマナド
書テソノ習ヲ白ヒシヲサメ産ル○此ヲカシヨリ白鳥ノ
此テ直ヒモノアルトキ雷ヲ風雨アルトキ嚴然タリ先ヲ秋田庚公屬白鳥ノ祝
エセニメノ処ヲ直リヨフヽ君チテ天ヤキヲリ懐動雷電手フシテ直リヨフヽ
○又次ノ歌、宮トヲロシタ白鳥明神ノ社アリコレハ日テ武ノ笹ヲ奉ルトヽヤシ

実ハ古玉代姫御産ニヨフ処ヲ此テ奉ルトヽ○左ヶ原駅、今ヨリ三十五ハカリ西
到晨夫由ノ厨ヨリ一管ノ笹ヲ採寄タリ外ヘ宜塗ニシテ班ラニ青金ノ処アリ
内朱ヌリニテイサカ損セスヲ大キヽ笹ヨリ三カルニ白墨公御代カワリイト
中国中、奉ヒラ何ニテモ祝器ヲ献ベキヨシニツキ右ノ笹ヲ献セシガソノヒノ
永々帝ノ苗字御免御セ分タル又此笹ハ即用天皇ツカヽ弁ヒヨリシ笹
ナルヨシ三至都ニ鑑定ニエセラレシニ相違ナキ笹ノ極メ仰ケルトヽ
白石城下ヲ南ヘ行ケバ俗ニ
斎川 駅ヲ下ヨリ
山ニカヽル山ノ麓ニ
ケリ岩ヲ彫キ仏ノ如ク甲冑山堂アリ佐藤又弟ヲ勇具ニ
高像ニ
コスゴリ駅古若下女
ヨリ仙石昇ル
ヨリ

○廿三日
白石城下ヲ立
アブミヅリ
甲冑堂
下辺ノ間

伊達大城戸

○廿四日

○廿五日

○廿六日

是より出羽路

杏平村

酒暗蕎麦

笠島関泉

如松鳥徒

知還天涯

怨駒秋光

赤白雪侵

頭出羽山

伊達大城戸へ入る 幸所領 上へ登る 福島へ着 白石より 六百袋 掛名

花形紋の所出て 庭坂小路三 飛坂七 曙 杏平村

所々在家多く 茶畑多く 桑多く 古寺一 俗名 祇園 三 飛民 家

作高 一説 光 [illegible] 出羽へ [illegible]

[illegible] 西へ [illegible] 二里 [illegible]

山路かる 七曲九折 杏平村 杏平村の山駄

[illegible] 酒 [illegible]

有 [illegible] 芋汁 [illegible]

[illegible] 吐 [illegible]

○板屋驛

一硯 [illegible] 実 [illegible] 曲 [illegible]

[illegible] 板屋駅 [illegible]

[illegible] 出口 [illegible]

[illegible] 一茶 [illegible]

[illegible] 牛 [illegible]

[illegible] 山 [illegible]

[illegible] 山 [illegible]

[illegible]

○大澤宿

大澤へ着 八日 [illegible]

○九月七日
大沢より五来沢城下に着

仙臺より福島
マデ行程ノ図
并奥羽連山
ノ景

山形
出羽
連山
雪景
白石城
川
白鳥明神
厚川

月山

白

城下

アバヽ嶽

出羽

二本松
城下

福島
城下

宿
城

佐藤
城跡

高ノ
根原

伊達
城下

手荷

陸ノ上

忍ノ
宿

○米澤國風

不流游惰太平風婦素麻
大百工誰使臣廣永因是
德行敬服鷹山公

居屋に戸御示ノ節板屋駅り出テ消腹に成タメ又ハルトキ編腹にアテムル諸家ヲ大医ト人に多分馬駕に乗ルコトナシ國政厳重ノハ正人又市中無高貴ノモノ町役所ハ其事ヲ掌ル事一ニシテ上下共ニ吾事ノハムモノヲ賞シモリ怠ル者い其一倍ヲ罰ル○子供ハ人ハ人扶持ヲ下サル○官罪ノモノ或年傷リテモ他ムコトナリ中タツテ出シ其刑に行フ○市中在共夜ル男女ノ役人ヒリカ、慎強し若婦共ハ兵士アルハ人キヒシリ江戸に其科に ヨリ五年家中奉行タチ申ムシカシ年ハ貴ニツカハス又一ヒヲ三ノ人ヨリ過ハ○御用金ハ云コト一切ナシ下ヨリ強テ献ルトキハ預リヲキ何時ニテ八用ノトキ慶シキ又若所用ニツカイ候時ハ利金ヲ以下サル○反古ヲ他國ニ賣出スコトヲ禁ジテ國政ノ厳ナルヘシ○城コハリ裏ヲ類発シ多リ只諸別見苦シキ處ハ外ヨリツクロイヲクシ○家中ニテ内職セサルコトナリ殊ニ織布一ノ産物ニシテ其外大抵ノ品物出サルコトナシ且諸色ハ直下直ナリ高利ヲ貪ルコト常ニ戒メリ○當國ハモト直江城ト云城ニシテ三十年ヲ石ノ城下ヨリ其后上杉景勝ノ當国ヨリ移リ初メテ其節ハ國中ハ悉ク田広島ヨリ移家ノ諸士其マヽ召ツレシシカハ知行ニ多クテツカハスコトヲ出シ其后二三代ノ末ヤ秋月家ヨリ養子入リ政ヲアラタメ節儉第ヲ諸支藩ニ推行ヲ初メリシカハ追々國富民豊ニ成ル此君ノ原御院殿ト称シ奉ル又其所代ニ忠良ノ臣アマタ神佐ニケリトソ○當后三十歳未賢君ノキコエアリノ上國政行ハレキタル由公四ヨリ所賞ヒトヲ降ス少將ニ任シ初ツ○當城下ハ土地ノ高ク千山ノ中ニアツテ冬ハ雪ツモルコト殆ンヒ最早午節ノ日々雪降来リ檐ヨリ湯ヲ家々雪囲イトテ四隅ノ外ニ塩ヲユイ薪ヲイタル又屋根ニモカコヒヲナストソ雪フリツモリテハ家ヲ壊スルヒヨツテアマタノ人夫ヲミツテ其雪ヲハラヒヲトスル以ノ長人ニシテ大家ナラハ一度ニ三四人位且サマ々ノ直異ノリ以ノ稽覧一家ニテ三三年ニ餞ホドノ金子ヲ出スヒカシ右ノ雪ヲ除ケツヽカヽテ日雇

アマタ人コヒ冬ゴシ世ワタリトス○雪中ハ街道分論初メハ路山路大々日々ハ半約ケ
人馬ノ通ス路ハ雪ヲフミ踏タルニテ通リヨリ論外ニテモフミ行ヨブ
ル・コトナシカエツテ初冬三月ノコロ道アシ・雪フリツモリテ人屋根ヨリ高クシカシ雪
ハアタカナルモノヨシ又雪中奇物ヨハコビ及俵ソノホブ、雪舟トモノヲ用ユ風後ニ
出ス此モノ最タ便利ナモノニテ一人シテ俵四五俵ハ自在ハコブヒリヅ出風ニテ子供マツビア
道具ニヨリ雪ヲフミナタシリマタ雪袴トテ男女小児マテモツヨ冬ゴシハキ居々
リ図ホノゴトシ

出羽秋田領雪景色図

風路亂山雪共賦
自悔漫遊終到此
雪華三尺失帰途

右氷降客舎
但雪

日本八日雪　ゆるふり　古店屋ゆき
日本九日曇　整肖京醋買ゆき
日三十日　京雪ゆれ共小ゆきれ共雪
小松ケ原ノ小ゆきリ　荒ゴミリ
ゆきの中ゆきの高人ゆきの
つもるゆきの中ゆきの

氷ヒ降ル三度
島道中

○十月

日朔日霜雪ゆきの　ちるゆきの高
雪ハ山の色ゆき　七ハ
高ゆきの人ゆきに
とれゆきの高ゆきの
高ゆきの

日二日

○三日大雨
三ヶ所出張
川ノ辺ヲ通ラ
テ大隅ノ香
椎ヲ経テ数度
阻ル五加瀬
山中ノ道ヲ行
カゴトシ

大隅大行院
投宿

○四日

[illegible]

浮島一見

[illegible]

大沼山
浮島之圖

浮島宮

別當
大行院

実方朝臣島見松

詩岡壇

時雨塚

小峡六十有餘分
千古泥中任奈何
帶雪芙蓉迫浪戰
風吹眼前補異
雅為説理外奇
觀皇解憂日落
雲歸山嶺斜
虬龍或訪碧潭
浮
治題浮島

[illegible]

[illegible]

[illegible]

恍疑身是入
仙鄉山自清閑
泉自奇老樹莫
居鶴巢石花
岩四西麝蜂
房雲吐櫃于
驚結斜苔堦
梯霄處行處
唯恨主僧無雅
致凡禽猿鶴
損風光
右題山寺

有為清淨之所
八度師

終歲三山雪
皚皚遠望
空靈威異
限意都在
不言中

遠中望
出羽三山
三山者月山
鳥海山羽黒
山是也自古
登此山者禁語
山中支困勿及
之

○六日 [illegible]

○七日

銀山無雪碧
鍼鳥過人鳴
不歴新寒路
誰知雪国
情

○右出羽山中
作

○長崎の五

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山形城下

○八日

陽山ヲ立

○九日

上の山ヲ立

稲下

金山峠

陽山

陽澤ヲ立

[illegible]

○十日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の町と出中村百姓止宿す

○十日晴　夕方より福島に着す

○十一日風　同所[illegible]

○十二日

○十三日

○十四日

○十五日

○十六日　雪降り川[illegible]

○蓬山中一夫駆数瓢　輸税到平城　欲過寒山雨　追来叱咤聲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

冬ゑ科ろう五七月　此ハ夜ニ海ヲ人間ノ有ル

サテ日暮食事ヲ了リケレハ堂内ノ小姓ニイナカシ竜燈ヲ見ントテ本堂ノ前ヲスギ山ニ信ヲ
左リニメグレハ竜燈場トテ巌ノ上ニ小屋アリ側ニヨリヨノ人々トソマリ居ル巌ノ方ヲナカメ
下ロセハルカ岩城海辺ヨリ川ニ沿ヲツタイホノカニ来リ火影ニツミツ眼ヲハナスマモリ居ル
木島ヲスグルトキト見ヱシハラノカリシテハマメアリツイニフモトニ近ツ其火ウスクシテ光ル
○鬼火幾明滅傷　ナリメトエハ狐火ノ所ノ夜ニトミルカコトシ
水星光怨流燈　堂ヨリ相馬岩城水戸ヘト直チニ行ハ
映夏廊蒼前竈　何トリ其終リヲヨリ見ト、ケニモノトケニ霜月ヲシノキ時ヲウツス、コロシたナ
松眠冬嶺瑟琴伝　イツクニアリシトラス、消失ケレハ名残ヲ
○有夜潮出新月　ナル男ニ竜燈ノ変ヲツブサニ聞ニ往古ヨリ
芭蕉帰空不可求　基別ナリ且其故カキリナリシタキトハ数百年
道ヲ通ルモノ国夜ニ白昼ノコトキトキアリトヤウリ
物ノモノサワガシクモノカヘリナトスルトキハ近ツカストコノ類我為ニ肥後ハ代ト云島ノ国
右　七月廿九日ノ夜アマタノ火海面ニウカヒ後ハ代城近キ妙見宮ニ竜燈ト云アリカノ枝
ヤリツイニ夜明ルコレ即チ霊験ノ石紀文ナリ　海スルニ同物トヲヒハルニカシハ七月
廿九日ニヤキリノコレハ毎夜カリノコトシイカナル物ノ火ニヤ奇中ノ奇ナリ

○閻伽井嶽薬師如来ハ南天竺童智阿闍梨父母養養ノタメ三千三百三十三躰ノ仏像ヲナサニ又流沙被迎菩師ノ
五躰全像ヲ鋳ヲフ其光師如来大唐霊鷲山ニ在リ阿闍梨我朝ニ持帰リ加国瑠璃光山医王寺ニ移
ニ奉ル其后九年ヲ歴テ天平六戊戌ノ年幸国ニ渡来ル行基菩薩観世音ヲキ諸人降度ノタメ当山ニ開堂
建立シテ後ニ奉ル又六十年ヲ過テ慈一大師此峯ニマウラレ中興ス時大同元年因ル年ナリ

○ナカラ伝ヘ聖閻伽井嶽　ちとせもすぎぬ苔むすかきつ
うつい出るひとすす山路ふるすとかけくれ元十四五ヶ年ヲ
出家ハ人ハ　ちとせまんへいのうちにかくれ
又ナカラ又ナカラ　ふるさとハ　年ヲ
ふりて　村ふる　何川ふるさと　三月
ふりて　宗伝ニ着ケ　当家当島　人京ヲ
ふるさと　白雲　山　無京　京ハ
人ヲ雲　宗伝の年　雲ハ
ふれ　ふるさと　ふるさと　ふるさと
ふるさと　柳　海　空　空
此所内ニ西村トテ美店ノ駅主アリ詩ナトツクリ風雅ヲ好メルヨシ仙童ニ書ヲ
ヲサシ出ス、手代共奥ニテ行ヤ、シハラクアリテ来リ云ヤウ只今主人用事アリテ
他行ス久シ候トコノ以前アルヒノ夜宿ヲタツネケルニアリトヲ今マメ留主ナリトハ心
得ス且係書ヲテ行トマ、シハ家ニ居ケルニキハマリナカラカリコハルニノナントヲモ
クヒヤウ　雪ニキリニフリ出ケレハ行ヘキヤウナリ宿リヲモトムルニ手代ヲヤウヒ

御立箱行の近処、砂子内申サセトラ他ノ手代、案内サセ扉ノ屋、ソレ行キ庵略ナキヤ
ウメノニフキヤヲリヌコハ丁寧ナルコトヲシテ宿ニ上リ其夜ハ九ツ前日ノ紀行ナ
燈カンケ雪高ノモトニヤトシ之翌朝食ヲ取リ宿ヲ出ヒヘヤノ西村氏ニ手カ地等
ノ事切ナトシテ行ク礼ヒニカヘリ宿ニ立ヤウ即旅装シテ主人ソノコトヲ云ハ君
多ハ高日西村ヨリ案内アリトシテ主人ソノコトヲ云ハ君
ツカイノ西村、タリヌサセクレンソレハ此方ハゾンジ申サストサテハ左様ノコトニアラシ
ヤ予ヲ是マテ真羽取ノ風流家アイタツネソノ家ヨリ案内シタル旅宿ニ宿帳
レイタメセシ下ナシサリナカラ宿屋ニカハリタルコトナシ碎細ナコトニ気ノ毒申タリトテ大与
用ナシケレ主人ヲ見タ赤面シ此地ノ風俗ミノ何方ヨリマヰラシ即チ風家ニテ大与
右ヤウノヲアレライミアトヽコフリモフ人ヒナリ豆タヌ風流ノコトナリトテイタリ今ダル侍ヒ

○廿日

子刻ハ雨ヒ雨ヒ雨ヒ

席芳
平寫圖

四季関
一名若古宮
関

○平潟竹枝

○崎嶇張弓勢人家鏡架之直昇朱海日先照
應神祠　○夜深高海氣法螺響回丸
早逐奥塔利馬影泊波洋　○稲荷祠
為傳四孫平家枕流伝修篤鷲夢亦之

○勿来関懐古　○歌枕関
将軍立馬倚櫻華　関改草枯迷徑斜　今日縱無芳
樹在千年迷詠觀於花

○竹下

[illegible]

○竹下

[illegible]

山橋戦

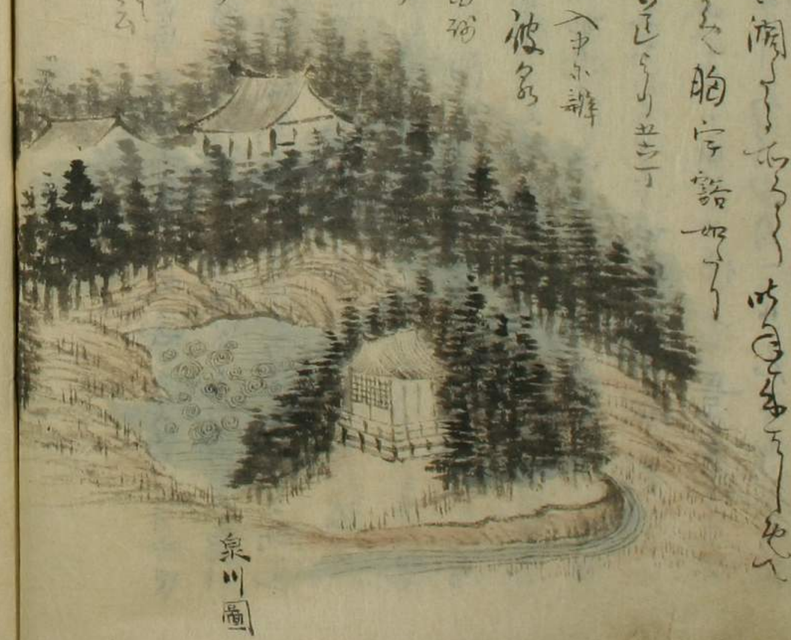
[illegible]

唐廟

○水戸藩中
拙著大洋子
成武房
取宜言行
英公独有憂
慶々
海防新策
別

○水二の

○泉川社



泉川圖

○ちこる

○水戸城ノ上

[illegible]

[illegible]

[illegible]

降出シイロ、シタリケニ石壇ヲ上リヨフミフト仏坐ノカサフキ所ツモリシ、落カヽリケレハ所
所ヲ失ヒ、所髪ニ疵ヲツリ侍ケレ当リケレハマトニウチヲトロキ居タルニイサカ猶豫
モシタマハス、偽ヲトアユマセモリ今ハユルリトアヨリトノヨイシカ共悩シ多ケレハ猶カガシ
マイラスルニ又所意アリテ今ハユルリト久シテ曹ニフラルヽヲモシロシトノヨイケレハ
所アトヨリフラルマサリ所社参ヲワリイカナル所トカメニヤアフヘキ鼠々競々トツリ
ヽ里ノ下ニ腹ニテモキラハヤトラモイアキラメ居タルニ早速外ノ所近羽白ヲ召サレ
鵜殿クヲテノ気奏ニテハサソ気ノ毒、ヲモソツラニモヲ事カイカリヲ恐シ怪我ナト
アリテハ笑止ナリハヤク行キテ少シモ暇ナキヤウ申シキカセヨト仰アリケレハ
所意ノ申キ申ウ和リケレハマコト感度膽ニ銘シケルトソ
○先年 公辺ヨリ所疑心ノコトアリ所隔居仰付ラレシニ所高ノ至累リ所慎ミヲワス
ヲ恐ニナキヤハリヲ子ニ上下ヲ著シヨイ所城ノ辺ニ向イ坐シスコシモ動キモハスノナハ
所上下猶シ破ルニ至リ下部ニ腹ヲ自由ナリカキケレハ所信ノ人
ミハシメ所平生ヲスヽメサラスルニ所老君御ニハ此度公辺ヨリノ所咎メ事ニヲリテハ
イサカヲ不ヘキコトナカラ所疑心アルヒハカラ反ハス若事ニ罪ナリハ天皇ニ殺サレヤ早シ
テ罪アラハ死ストモ苦シカラシトテ少シモ所カマイナリ恐生シモイシトソ○其節ノ意ハ
公辺ニテ所老君ノ謀殺アラセラレスサリナカラカ子ニテ異船襲来ヲ怒イヨイ新々海岸ニ防禦ノ
左様ノ主領アラセラレスサリナカラカ子ニテ異船襲来ヲ怒イヨイ新々海岸ニ防禦ノ
城ヲ築キ或ハ鐘ヲアツメ大砲ヲ鋳ニケレサマヽ新規ノコトサセラレシヨリ弟箱
侍奸ノ者ヒソカニ公辺執權ノ衆ニ悪リ申シコニカヨウノコトナリ行モヨシ

○一橋殿ハ水戸公所連枝所意ニ人フセラレシ公義ニモ殊之外所寵愛フカリアラセラレツヲ
一橋殿ヲト所意アリケルヨシ或時所殿前ノ翁ノサヤリニサキケルニ一橋殿ヲ召シヨイイシ
ミテモ一幹望マレヨツカハサント所意アリ所幼君ノアト手伝シ何トモ所若ヘナリ只サヽヽト任ヲ
上様ニテモ所気ノ毒ニ早ホシメカレ一橋殿ノ何ユヘナケルヽソ気分ニテモアレキヤイカヽト所老
ヲ所意アレハ若女衆ナヽメ美ルニ何ノ所イラヘモナケレハ上様ニモ度々所意アレハ厳々頼シ
アリ余ノホトモノヤ、アルヘキヤト案シワツ父ハ年久シク所咎メ蒙リツヽシミ罰リ
ノシクハナカメ候ハスト申上旦所老君ノ身ニ少シモ異心マシナキトモ大ツフサ所モノカタリハ候ラハトモ
アラセラレケレハ上様ニモハシメノソトロカセモリ其后ヤカテ所免アリシトリ一橋殿昇時
所年十五歳ニナラセヲフ此君御年ハ候ラハ父君ニ従テ賢ヲナリトキ
所老君所ヲ十八人アリ男女共イツレモオ智スリシモフ當君父君ニ孝敬ヲツクシ国政ヨリ行屆キ武
大イニ威服ス辺年世ヒノ風説所父子ノアルヽ所サマニ取カメセシハ全ノ結城荒次郎トテ奸臣ノモノ隠
諸ヲ企テ次ノ侍屋ヲカタライ内ニ毒殺ナトヲムリミ外ニハ誣告ヲ出シテ忠誠ヲ偽言セシメ大ニ
所老君ニモ数度危難ニ臨ミヨリシカト所宜ツヨリ毒ニモアタラセヲハス老君ヲヲ、所意アリハ
シイラ毒ニ中ルコトアルヒトヲモフ其故ハ倉支無ニ日々カニクメノコトヒマヘシハモシ毒アルモノハ必ス吐気
シ発ストコノ一変ニテモ所ツヽニフカキフシ
結城宗次郎叛逆露見ノ上六年御新ラ當君所慎リカヲナラ悪人トシテアナカヒ捨ヘキモノアラ
カ老君強イラナメ申リソコモトニテハ若キノコトニハ慎リカヲナラ當君ノ御ニハ父君ニ勤シ右様ノ
ハ数度モ申サトシ吉凶モトツカセメシ仕ルガヒニジナリトノヒヘモ猶豫ナリカヲシト申上ヒライ度モ老君所ナメマリ後ニハ所ヒタ
不敵不忠ナヒモノ私子ノ身トシテ猶豫ナリカヲシト申上ヒライ度モ老君所ナメマリ後ニハ所ヒタ
行ラナカシヨフニノヒハコトヲ以其他入字イタカセケル又ソロ彼者宮中ヨリ江戸近侍ノ侍臣ニ申シヲ

りり毎後ラスハ其コトヌ又々露見シラヨシ此度ハヨク章キ刑ニ行フハキニ仰有ケルヲ老君猶モヨシトメ
サマ〻ト申サメヤウ〻ウケ首ニナリケルトソカノ所仁慈フカキヨト世ニ多クシルシモノナリ只々老君ニハ所詮
度遊夢ニスキ矩屬ノコトニアルヤウニ申ナシケリハ孤ヒタキヲ〻ナリ〇所老君ノ為人英明賢ケシモト
ヨリ俊傑ノ辞給一度見玉ハヌ文章語ニ義理明白ニ論シヨフサリナカラ所文ヲ見ハセヨフハイサカ
候詩ナトノ儒者臭キコトナリ只不和言葉ノ世俗ニ通ジザスキヤウトノミ書ヨフヨリノ諸藩ノ中ニ曼志
スモノムツカシキ文カスハカカリタル文ナトヤキケルヲ所覧シテハ笑ハセヨフアノモノモリヤムジナニナリタ
ムシナハ我コトシラヘタル完ニシルコトシアタハス人ノコトシラ見上タルコトナシモシ所恐リ甚タシキトキハ只高声ニ笑ヒヨフノミ
ガシモ其人ノ叱リヨハスツ矣人ノ之居振舞ヲ見サマラレヌ微アルモノナト見ヨフトハ大眼ヲツトヒラキ
所ウレヨリヨリヤウニ見エシトモ笑ワセヨフトキハマコトニ慶嗣ニ成ルトソ
○老君先年所在国ノ時漢トテ伽耶ニ旅宮ノ所アリ所ニ失火出来ケレハ君ヲトロカセリ早速所馬ニメシ所候
モメシヨウスカケツケヨフ所信ノ人ニ追々ニカケマサリケレハ君ノヨフヤウ一新ナリトテフセキトメサセ度ニモイ
世ホニ先ヲアケツケシハ子ヤラ及ハストテ帰城シヨフ牛トキ漢ナ新カリコトヽ〻ノ殘矢シタリソノトキ
也侍ノモノヲ召サレイカナル所置ニテ漢ヨハ敬ハニヨノ〻異見キタルトノヨフソノトキ諸城寛恕郎スミ出
申様此度彼地震焼ヒノ上ハ先サシアタリ諸色高價ナリ行キ難儀ノテ出来スヘシヨツテモラ制ス
ハトツト所觸ヲ出サレ君諸臣ヲカエリミイ合ハイカニト仰アレハ至極ナリトミナ〻
メシトラスウケステヨハサタメラレント申上ル君諸臣ヲカエリミイ合ハイカニト仰アレハ至極ナリトミナ〻
所返答申スソノトキ藤田帯ニ助トテ英才武略ノモノアリ其ニ居ラレケレハ君藤田ニ而ハセヨリ帯ニ助ハイカニ日高ナヤハ何セヨハ帯ニ助ツシレテ私ニ対イケハ其
説アナカケ見ニキトモ申上カタシトヘハ君再ト所意アリ其方別ニヨロシキヨ大モアラハ色マス申聞ヨト
仰セケハ藤田帯ヲスヽミ利ル筒ニテハ此度漢ノ義ニヨリテハ何タル仰ケサレ只其侵ニサシ

ヨアレ玉ハ豆シカラント申上ハ信リノ人ニ不審ノ解ニヨモフ旗色君シハラク所覆ヲカタフケヨリフト伽藍ヲ
メ〻カセラレ帯ニ助当来タルホド所言アリ其日ノ詳定ハヤミ〻ケリ此帯ニ助ハ何アマリ無変ス
リクヤウナ共ハカシテヨキ国ニアタレリ其ニハ漢焼タリトキ迫在遠在ヨリ竹木舟筏ニテキリ出シ
ハシメノホハ至テ直段ヨリ倉モチノ多ノミハヤリ買トリ家作シタリ買シキモノハ当多人ノ納屋
小屋ナトカリ住居ニテ竹木ヲ買チカラオ
カ逐ヲヨリモチ出シタルコトナハ舟車ニツミヤルモ造作ナ六塊ナリ安々ト拵イケハ度賤
モノ迫々ニカイトリ昔請シケルトナリ
○此藤田帯ニ助ハ生英敏ニシテ学才世ニ名高ノ人経学天ニ昇ケルトナリ孔子書ヲ讀ニ至テスミ
ヤカニ只ヲリカエヤウニニ其中時トシテ不完全ノ書籍見シタキヨハアリテ顧ノ上左ノ如書ヲカリウケ二度讀カ
語セカルモノナシ或時公儀天文家ノ書籍見シタキヨハアリテ
エシ迫ニ近上シケレハ天文家ノ吏イハレハ此ハ水戸公ニ所用所望ノ書ニエルリト拙見ノ上馬トラヘ候テ
シカルヘシト申ケレハ帯ニ助ツレシテモハヤ一通リ籍見イタ〻ク候ヘハ私胸中ニ〻〻ク候ト何気ナリ申
ケレハ所役人アマリヤスヽト申処イフカシ
ハ無心ニ居ラハ此処ニテ一通リ讀上リベシトテ室ニ手ツキハシメノ三枚ヨミヲハリ中ホトツ又三枚終リ
ヨ二三枚サラヽト讀ミ無ケレハ天文家ノ衛役人ハシメテ感心シケルトナリ老君ツヽ所信
召ヒヨリ所籠愛コトニ重リ所信所田人ヲツトメケリ此人祖父マニハ義田屋ト云キ高賞ノ家ナリシカ
父遠谷先生博学旨実ノ人ニテ所老君近臣ニ召出シヨフ此人幼稚ヨリ学ヒスシ白川堅苔居ノ
○藤田帯ニ助先ハ博学忠節ト云フトモ雑談ノコトリ〻ニ近義明白ニ通シヨリ戯言ヲ感服スルコトヽ物ヲ得
知サハヤカニクヤナルムツカシキコトモ時トシテ居ナト見物ニ行ニアヘテ其狂言ヲ見聞スルニアラス
出ノ人数ヨリ又ヨリオアル人ヲ自ツル信実アリ又香アリソウカルモノヲ見テハタツヲ笑ヒテ
ラヲ云ハハタシテソノモノ人ニスクレタル紙アリ一ヨツ矣奥ニトスルトナリ惜ヘシ近年ニテ大地震
トキ果ニ屋ニ即死セリノヨリ其コトヨリ此ハ雑ナリ彩出ニカ毋二階ニ居ラレシテ出サアワテ毎ヨ

水戸の有名諸家

カヲ出シ戸口ヨリナケ出スト其マヽ家崩レウタレケルトマコトニ古民ノ匠モ天ナカナ可惜々々

○奮斎望吉　島伯耆　五百石　安直　雄教　後帥　雄敬　性島実情　學強識有経濟才文章富当今水戸ノ名儒

○豊田彦次郎　百七十石　史館ノ編纂　史館ハ先君烈公日本史ヲ著シ

○豊田彦次郎　百七十石　史館ノ編纂　帝師咸宜園ヲ設ケ自ラ御講ヲトリ京都ニテナキマルナリトソ　ニノ豊田彦次郎ト云ハ元来水戸遠在坂上村庄屋豊田清三郎ト云ヒシノ二男ナリ　十歳ニシテ藤田東湖先生ノ門ニ入シメ門人ヤカテ出谷先生ノ塾ニ移リ学ブヲ聞ヨリ京都ニ来リ三年間ニ通ジテ兼備ニ到ル書トテモ高賞往来フヲシ且ツ性ヒ温和ニシテ人ヲ見ル毎ニ必ス笑ヲ含ミ人ヲ時レス坐中ヲ歩行スルニモ少シモ足高ク其後ハ人ヲ見テ眼形スルトキハ一度書ヲ讀ミ人ヲシテ暗ンシメ其義ニ通ジツイニ書生部屋ニ入リ昼夜讀書スルコトヲ荒ケテクフニシテツイニ追出ス　四十歳ニシテ初メテ天文地理遠セルコトヲ又数術ニ長シ此ノ学問ハ水戸三助ノ子ニ

○青山量太郎　五百石　弘道　雄教後嗣　実取　性温厚情学誘文ニ長ス父青山量助ハ水戸三助ノ子ニ

○荒地八兵衛　息蒙　前馬廻　算術火薬ノ製ス西洋術ノ長ス子ノ孟毫

○荒地八兵衛　息蒙　前馬廻　算術火薬ノ製ス　其子ヲ子ヲツヽムルトキハ力ノ國ノ剣ヲサムルトト今ノ世ニ

○荒地孟　五百石　性隨遊学ヲアリ　又詩歌俳諧ヨリカサルコトナシ

○極地政次郎　百石　別山姓別山格性豪達誠忠無倫　大砲小銃早討ミ並調練ニ長ス

水戸御流義神弓流ノ師範ヲ勤ル　神弓雄ニ住ス

○高山勘左衛門　百石　高山流砲術師範ヲ勤ル　水戸家御隠居方

○稲垣勝左衛門　百石　砲術　鈴術ニ練達性キ幹忠義誠実ハ歳ニシテ文学ニ名アリ

○望月直之進　百石　宗蔵流鎗術師範性質仁愛当時町奉行

○望月直之進　百石　宗蔵流鎗術師範　鈴術師範　性質仁愛当時町奉行　倉沢鈴次郎ハ術長

○長尾左左文　百石　無為流　鈴術師範　別山先生ノ弟

○武田魁助　百石　同心達人　父彦左衛門伊賀殿ヲ勤ル　父彦左衛門ハ武田雄蔵ヨリ人ノ好嘗ヲ嘗ル　父ハ文ニアツカリ　指南ス

○翌助　百石　水戸流三角ト言フ　前中納言様ニツヽレモ寵臣ヲ

○堀口助左衛門　馬術名人ニシテ別武ニ通ジテ居リ　国見流ノ師範ヲ勤ル　其芸抜群今ヨリ百余年一歳

○堀口助左衛門　馬術名人ニシテ別武ニ通ジテ居リ　国見流ノ師範ヲ勤ル　其芸抜群今ヨリ百余年一歳　其芸無類ノ名人　江戸千葉宗次郎度々ノ試合ニ勝コトヲ得ス　渡辺孫左衛門

○周口秀南　水戸人　本科名人　在医ヨリ石出カル　○稲延定雄　ト名　由外科流行

○石川由直　彦　水戸人　北斗針術　古今名家　○朝比奈豊子　歌人　○国学歌　三輪友右衛門

杉地ト云ハ別山姓別山格筆復取兼帥初書懸ノ和歌ハ実沖用

○廿五日　只陸寺　銃砲差回ハ[illegible]

○廿六日　新高稲葉氏之[illegible]　横井[illegible]　[illegible]山新書肆[illegible]屋[illegible]

○水戸ヲ三度向フ　[illegible]大島園[illegible]　[illegible]

[illegible]　新葉村ニ鹿島[illegible]　[illegible]　[illegible]

○廿七日　[illegible]　新葉村　[illegible]　[illegible]

○土浦城下ニ着　[illegible]

○廿八日　市日ニ付町ハ人ニ[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

○廿八日

○牛久
○宮和田
○藤島

同八郎殿ノ夫人ハ三十人八郎様ノ御子ニテ是ヲ始メ人ヲ遣シ給ヒ其
所々ノヲカツヒキ侍ノ子ヲ光之順行スルヨシ此テヨリ吟味スルトキハイカナル賊ヲモ
早速召捕ニナルコトナリ〻ソ
昨日ハ前夜道ニアリシ常陸国茨城郡出居村阿久津為
此自ヲ乃多ハ書ヲ称一件国ヲ知ルヲ敬之義
ヲ以テ京ヲ知ルヲ農夫ヲ
ヲ以テ一件ヲ侍ヲ差居ル
而ヲ以テ濁酒一杯ヲ飲ヲ
牛久ヲ通リ道ヲ知ラシメ山ヲ乗リ堀リ多ク賢尾草茂リ
ヲ以テ山ヲ登リ昭ヲ春前宮和田ヲ通リ馬乳ヲ行ク此ヲ所ヲ
驛ニ着ク蒙面ヲ幼御拙ヲ者ヲ拙ヲ其多雑句ヲ儒ヲ線
一関東ノ御面ヲ為ヲ儒ヲ
相ヲ乗ハ者ヲ前ヲ者ヲ汚ヲ乳ヲ相ヲ
ヲ以テ書ヲ引ヲ相ヲ
ヲ以テ後ヲ相ヲ傷ヲ

土ヲ着ク乃チ直ハ南ヲ向ヲ一町ヲ
ヲ和ヲ知ヲ
ヲ牛驛ヲ先自ヲ
ヲ病ヲ
ヲ驛ヲ
ヲ
ヲ

[illegible]

所〻野島のいふ〻[illegible]の[illegible]陸奥山に着けおの大川の
[illegible]て人家[illegible]あり[illegible]多能[illegible]
[illegible]高り[illegible]
[illegible]村木村[illegible]高
[illegible]氷[illegible]多[illegible]稲[illegible]
[illegible]
[illegible]